

沖縄・名護市の辺野古基地の建設を撤回せよ。 秘密保護法は廃止。集団的自衛権行使に NO !

政府は普天間基地の代替基地と称して、辺野古に今後 200 年間、米軍が使える基地＝軍港付新空港をつくる事を進めています。また、日米軍事再編により、横須賀・池子・座間・岩国・佐世保・南西諸島をはじめ、日本各地で米軍及び自衛隊の基地強化が進められています。私たちはこれらを認めることはできません。政府は沖縄県民の基地被害の軽減を図り、米国追従の外交政策を改め、名護市民をはじめとする沖縄県民の総意を踏まえて、辺野古基地の建設やオスプレイ配備の撤回を求めるべきです。嘉手納基地への配備や自衛隊による購入も絶対に認められません。

さらに、安倍政権が国会に提出しようとしている「国家安全保障基本法案」は、憲法が禁じる集団的自衛権を法制化するものです。昨年 12 月 6 日、参議院で 22 時間しか審議しないまま強行採決された「秘密保護法」の廃止とともに、これに断固反対します。国会での駆け引きでなく、市民に意見を求め、平和憲法のあり方を議論するべきです。

- 1、政府は、沖縄・普天間基地の無条件返還を実現するとともに、名護市民の民意を尊重し、辺野古への移設方針を撤回すること。
- 2、オスプレイの沖縄配備、国内訓練を中止すること。日米両軍の一体化行動と全国の軍事基地の強化を中止すること。
- 3、特定秘密保護法を廃止すること。集団的自衛権を法制化する「国家安全保障基本法案」を国会に提出しないこと。



| 氏 名 | 住 所 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

***** ピースサイクル 2014 全国ネットワーク *****